

第6回 倉敷市水道事業経営審議会会議録

1 日 時 令和6年3月12日(火) 14時00分～14時50分

2 場 所 水道局3階大会議室

3 出席者 出席委員8名

天王寺谷会長、菅副会長、大橋委員、岡本委員、児玉委員、竹田委員、西委員、
渡邊委員

事務局11名

古谷水道事業管理者、智片参事、高旗参事、森兼副参事兼水道管理課長、大森副
参事兼水道総務課長、佐藤副参事兼企画検査室長、難波水道営業課長、岩知道給
水課長、安部水道建設課長、桂水道建設課長代理、小河原浄水課長

傍聴者1名

4 会 議

(1) 議 事

水道料金の適正水準(3)

<質疑>

委 員 「当日配布 資料1」の料金試算に我が家の使用水量を当てはめてみたのですが、改定案2と改定案3の差が2か月300円程度で、1ヶ月では150円程度なので、改定案2でもよいのではないかと思います。我が家の場合、改定案2だと2か月で現行料金より1,705円増額しますが、1ヶ月にすると1,000円弱の増額になります。改定案3だと2か月で1,420円増額なので、安いに越したことはないですが、改定をするのであれば、将来を見越して改定案2でもよいのではないかというのが主婦の目線です。それよりも自分の家の節水をしないといけないというのが反省です。

会 長 ありがとうございます。今のご意見は将来のことを考えると改定案2でもよいのではないかというご意見だったと思います。ただし、使用水量が多い企業や病院にとっては、かなり大きな変更になるので、そこは慎重に考えないといけないところだと思います。

委 員 この間、能登半島地震がありました。水の大事さというのは、こういう災害などが

あったときに分かります。値上げ幅は大きくなるかもしれませんが、やはり水の大切さを考えると、将来に備えるという意味では、改定案2の方がよいと個人的には思います。もし料金を一度値上げして、また資金が足りなくなつて、もう一度値上げということになると、「またか」というようなイメージになるので、ここで値上げに対してのしつかりとした説明があれば、理解していただけるのではないかと感じます。

会 長 ありがとうございます。今のご意見も改定案2がよいというご意見だったと思います。事業の健全性という観点からは間違いなく改定案2のほうが望ましいと思いますが、一方で、その影響がどれくらい受け入れられるものなのかというところも考えていただけたらと思います。

事務局 前回の審議会では、少なくとも改定案3の料金改定率17.25%以上は改定させていただきたいという説明を差し上げましたが、使用水量が多い企業や病院に対する影響の方が大きくなると思います。

委 員 企業は企業なりの努力をしているなか、中小企業になってくると、それぞれのところでどれほどの影響が出てくるかということがありますが、いずれにしても将来にわたつて安定的に供給していただく土台をしっかりとつくっていくということを尊重すべきではないかと思ひます。

会 長 改定案3の方がよいという意見もありましたら、この場でおっしゃっていただけたらと思いますが、審議会としては改定案2の料金改定率20.82%のほうが望ましいということによろしいでしょうか。

委 員 (一同異議なし)

会 長 では、本審議会の答申案の方向性としては、改定案2の料金改定率20.82%で進めさせていただけたらと思ひます。

事務局 次の段階として、料金改定を行う場合にどの使用水量の方にどれくらいのご負担をいただくかという配分について考える必要があります。本日の資料では使用水量が多い方も少ない方も均等な割合で値上げする形で改定案を提示させていただきました。基本的にはこういった形で使用水量によって改定率に差が出ない方向で、答申案を作っていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

会 長 では次回の審議会では、本審議会の意見を取りまとめた答申案を皆さまにお示しして、審議をお願いしたいと思ひますのでよろしくお願いいたします。

委員 今回配布いただいた広報くらっぴい令和6年4月号(第88号)の紙面に、以前審議会でも発言のあったように倉敷市の水道料金は安いという紹介記事を掲載していただいています。できれば今日配布いただいた「当日配布 資料1」の料金試算表も今後広報紙に掲載していただければと思います。これだけ節水すればこれだけ料金が安くなるなどの目安になると思います。

事務局 「当日配布 資料1」に掲載している改定案の料金試算表については、現在まだ審議中ですので、誤解を生むことがないように、料金表が確定した後に、皆さまへの周知期間を設けて周知して参りたいと思いますのでよろしくお願いします。

委員 前回の審議会で耐震化について国の定める目標を上回るよう取り組むということで説明いただきましたが、能登半島地震もあり不安になっているので、しっかり頑張っていたきたいということで要望させていただきたいと思います。

会長 他にご質問ご意見がなければ本日の審議はこれで終了とさせていただきます。

(2) 今後の日程について

事務局 次回第7回審議会は、4月19日金曜日に開催させていただく予定です。

令和6年 4月 5日

代表署名人 天王寺谷 達将